

| | | | | |
|-------------|---|--|--|----------|
| 事業CD | 4-1-2-3 | 事業名 | 母子保健事業 | |
| 所管課 | 市民健康課 | | | |
| 事業目標 | 妊娠期から子育て期にわたるまで、地域の特性に応じ、専門的な知見及び市民目線の両方を活かし、必要な情報を共有して切れ目なく支援を行います。 | | | |
| 事業内容 | 妊産婦健康診査費用補助の拡充を図ります。不妊・不育に悩む方に対して、特定不妊及び不育症治療費を助成します。思春期世代が将来のライフプランを考えていくための冊子や、祖父母及び地域住民が子育てをサポートしていくための冊子を作成し、その普及啓発事業を行います。妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を強化するため、母子保健コーディネーターを配置し、産後ケア事業を開始します。 | | | |
| 特記事項 | 「健康に暮らせるまち」の実現につながる事業 | | | |
| 事業工程 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 推計事業費 |
| | 妊産婦健康診査費用補助の拡充 特定不妊、不育症治療費の助成の実施 思春期向け冊子及び祖父母向けの育児支援冊子の作成・配布 妊婦や子育て世代、祖父母向けの母子健康アプリの普及啓発、活用 | 妊産婦健康診査費用補助の実施 特定不妊、不育症治療費の助成の実施 思春期向けライフプラン等の普及啓発事業の実施 妊婦や子育て世代、祖父母向けの母子健康アプリの普及啓発、活用 母子保健コーディネーターの配置や産後ケア事業の実施 | 妊産婦健康診査費用補助の実施 特定不妊、不育症治療費の助成の実施 思春期向けライフプラン等の普及啓発事業の実施 妊婦や子育て世代、祖父母向けの母子健康アプリの普及啓発、活用 母子保健コーディネーターの配置や産後ケア事業の実施 | 531.4百万円 |
| 予算額 (千円) | 169,805 | 177,463 | | 347,268 |
| 事業実績 | | | | |
| 決算額 (千円) | | | | 0 |
| 備考 | | | | |